

スラリーの

※サブテキストとして「基礎スラリー工学」(丸善出版)を参加者全員に1冊ずつ配布いたします。

分散・調製技術と分散状態評価

- ◆日時:2018年6月29日(金) 10:30~16:30
- ◆会場:江東区産業会館 第2会議室
- ◆聴講料:1名につき54,000円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申し込みされた場合、1名につき49,980円
- ・2名以上同時でお申し込みされた場合、1名につき43,200円

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料21,600円です。
(ただし、企業に在籍されている学生の方、教員の方は除きます。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:法政大学 生命科学部 環境応用化学科 教授 博士(工学) 森 隆昌 氏

《受講対象》	液中での粒子分散の基礎、粒子分散状態の評価手法(従来法から最新技術まで)
《講座の趣旨》	液中での粒子分散を支配する要因を解説します。その後で、実際の測定例も交えながら液中の粒子分散・凝集状態をどう評価するか、その評価法を紹介しします。 特に評価が難しい濃厚系(高粒子濃度)のスラリーや多成分系のスラリーについて、リチウムイオン電池正極材料スラリーを例に、粒子分散をいかに評価し、製品特性を予測・制御するかを解説します。
《プログラム》 1. イントロ スラリー評価の前に知っておきたいこと 2. 液中粒子の分散・凝集を支配する因子 2-1. DLVO理論 2-2. 非DLVO力 3. スラリーの流動性評価 3-1. 流動挙動の種類 3-2. 流動性評価法 3-3. 流動性評価の実例 3-4. 見かけ粘度の測定で注意すべきこと 4. スラリー中の粒子集合状態評価技術 4-1. 重力沈降, 遠心沈降試験 4-1-1. 測定原理及び実験方法 4-1-2. 測定結果の実例	4-2. 静水圧測定法 4-2-1. 測定原理及び実験方法 4-2-2. 測定結果の実例 4-3. ナノ粒子の分散・凝集状態評価(浸透圧測定法) 4-3-1. 測定原理及び実験方法 4-3-2. 測定結果の実例 4-4. 希薄系での直接観察 5. スラリー評価の応用例 5-1. 噴霧乾燥(スプレードライ) 中実球形顆粒を作るには? 5-2. リチウムイオン電池正極 多成分スラリーを評価するには? 5-3. チタン酸バリウム シート成形で成形体密度を制御するには? 6. まとめ
	【質疑応答・名刺交換】

『スラリー』セミナー申込書

FAX: 03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要な事項をご明記の上、FAXにてお送りください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>